

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：装備費

事業名 **新** 防弾用装備資機材整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室装備施設課 電話番号：058-271-2424(内2264)

E-mail：c18868@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 42,526 千円 (現計予算額： 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	42,526	0	0	0	0	0	0	0	42,526
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

銃器使用の凶悪犯罪に対する受傷事故防止、また積極果敢な現場執行を確立するため、防弾チョッキを計画的に整備しているところ、先般、長野県内において、住民が刃物で殺傷され、現場臨場した警察官が銃撃され殉職し、家族が人質となる立てこもり事件が発生した。

これを受け、初動対応する地域警察官の更なる安全確保のため、防弾用各種装備品を増強整備する必要があることから、当該物品を調達する経費を確保する。

(2) 事業内容

防弾用装備品 (防弾楯、防弾チョッキ、防弾ヘルメット) の増強整備

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県警察の装備品を増強整備する経費の負担であり、また国庫補助金については他の国庫補助対象事業と同様の割合で充当しており、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	42,526	防弾楯、防弾チョッキ、防弾ヘルメット
合計	42,526	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

II-2-(2)-⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

防弾用各種装備品は、初動警察活動を支える重要なものであり、早急に増強整備を行い、物的基盤の充実強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

装備品の調達・維持管理に要する経常的なものであり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	警察装備品は、警察活動基盤に欠かせないものであり、必要性は高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	警察装備品の活用により、警察活動が安全かつ適正に行われている。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	警察装備品を計画的に整備することにより、警察活動基盤を維持している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 防弾用各種装備品の維持確保のため、今後も計画的に更新整備を進めていかなければならない。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 警察装備品については、事件事故等発生時の警察活動の安全性確保を図るため継続整備していく。
--